

# はたちの座談会2021

生涯学習課青少年係  
☎(63) 8323

Be Clever Be Strong ～逆境こそチャンス～

おおもりけん  
大森元喜(同会)

としまおさむ  
戸島新太(委員長)

なかざのしやう  
中留舞介



佐藤信市長

かほこほな  
金子葉南

いしかわさき  
石川咲季

ほしもとかなめ  
橋本叶芽

申村仁教育長

鹿沼市成人式「20祭」を目前に控えた3月6日、  
Bonsai Café (市花木センター内) を会場に、恒例の「は  
たちの座談会」が開催されました。

参加したのは市長、教育長と新成人6人。「20祭」へ  
の意気込みや、鹿沼市の未来への思いについてなど、意  
見交換を行いました。



▲戸島 新太  
「大変だったけれど、楽しかった」

## 市 長

コロナ禍という過去にないような状況での開催となり、皆さんにとっては苦労が多かった半面、貴重な経験にもなったと思います。自分たちで企画し、一つの形にするという一連の活動から得たものを大切にしていってほしいです。

## 大 森

実行委員は個性豊かなメンバーがそろっていて、それぞれの得意分野を生かしながら準備できたと思います。委員みんなのこだわりと想いが詰まった「20祭」。同級生が「みんなに会えて良かった」と思ってもらえるように盛り上げていきたいです。

## 戸 島

### 鹿沼市20祭への思い

今年は、開催自体が危がまれる中でしたが、たくさんの話し合いを重ね、実行委員みんなが「20祭」を作り上げてきました。自分たちの考えを遠慮せず伝えるようにコミュニケーションを取りながら、大変だったけれど楽しかったです。

## 橋 本

今年は、在宅で授業を受けることが多かったですが、そのような中だけではなく、コミュニケーションを取りながら自分の思いや考えを言葉

## 石 川

コロナ禍で、旅行や友人に会いに行くことが難しいときだからこそ、地元に行ったことがない場所へ足を運んでみたり、電話やメールで対話の機会を増やしたりと、マイナスな状況でもプラスにできることがあると感じました。

## 金 子

新型コロナウイルスの影響で、予定していた留学が中止になったとき、友人や先生と情報交換を重ね、日本にいてもできることを探し、挑戦することができました。制限が多い中でも、人との関わりや今できることを考えて行動に移すことの大切さを学びました。

変化する社会の中で  
この逆境をどう乗り越えるか



▲石川 咲季  
「必ず何かひとつはプラスなことがある」



▲大森 元喜  
「20年間関わってきたすべての人に感謝」

大森 20年間において、性格や考え方など自分の土台となる部分が形作られる上で影響のあった全ての人に感謝したいです。自分は、言葉で表現することは得意ではないので、行動で感謝の気持ちを伝えられたらと思います。また、目標を達成するた

感謝を伝えたい人・20歳の抱負

教育長

逆境をマイナスとして捉えるのではなく、それをきっかけとして新しいことにつなげていくことや、人との関わりやコミュニケーションを大切にしていきたいと思うことは、素晴らしいことだと思います。

中留

何事もマイナス面だけということはないと思います。その中でもプラスになることを見つけて、挑戦していけたらと思います。

橋本

先日テレビで鹿沼のニラが紹介さ

金子

鹿沼市のツイッターを登録しているのですが、もっと若者が親しめるようなアイデアを取り入れて、広報かぬまに次ぐような情報発信ツールとして、たくさんの人に鹿沼の情報を届けてほしいです。

中留

鹿沼は山や川などの自然や神社なども多く、名所になるような場所がたくさんあるので、もっと観光客が増えるような工夫をすればいいと思います。

鹿沼に望むこと

鹿沼は山や川などの自然や神社なども多く、名所になるような場所がたくさんあるので、もっと観光客が増えるような工夫をすればいいと思います。

教育長

自らを大切にし、また周りの人への思いやり感謝する心を持つことは、いつの時代においても重要なことだと思います。そのような気持ちを忘れずに、新たにチャレンジしていく前向きさを大切にして欲しいと感じました。

石川

め、目の前のこと、ひとつひとつに自分の力を100%注ぎ込んでいけるように頑張りたいです。コロナ禍を経験して、今まで当たり前だったことがそうではないということに気が付き、平和な日常を過ごせることに対して、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思いました。今年はボランティアや地元の活動への参加など、たくさんの方に挑戦したいと思います。



初めは緊張していた新成人たちも、開放的な雰囲気の中で会話を交わすうちに、和やかなムードに。

市長



▲橋本 叶芽  
「鹿沼の特産物を全国に発信したい」

身近にあって当然のものは、見過ごしてしまう場合も多いが、遠出ができないこの状況は、故郷を見直すきっかけになっているのかもしれないですね。今後も地元にある貴重な資源を活用し、このまちが活性化できるように努力していきたいと思っています。

れているのを見て、地元の特産物が注目されるのはうれしかったです。また他にもイチゴやそばなど有名なものがたくさんあるので、もっとそれらを全国に発信できるようにがんばりたいと思います。

市長・教育長から



今後皆さんの活躍の場は広がっていきます。夢を持ち、目の前のことに着実に取り組みながら、頑張っていってほしいです。  
(市長)



多くの意見を聞き、積極的にコミュニケーションを取りながら、人とのつながりを大切にしていってほしいです。  
(教育長)



Bonsai Caféをオープンするときに「ここにしかないもの」という思いを大切にしました。皆さんも「自分にしかないもの・できないこと」を意識するといいいと思います。  
(市花木センター御地合理事長)